

研究構想シート		学校名	邑南町立石見中学校
		氏名	上田 ちあき
A 研究主題 自他を大切にし、主体的に学ぶ生徒の育成～「学び合い」の授業づくり・認め合い、支え合う集団づくりを通して～			
B 研究の目的 ・学力育成と集団育成を柱にした実践研究を行い、有効な手立てを明らかにする。 ・自他を大切にし、主体的に学ぶ生徒を育てる。			
C 子どもの実態 令和5年度の実態 【成果】 ・あいさつができるようになってきた。 ・係活動や清掃活動、生徒会活動等に責任をもって取り組む生徒が多い。 ・生徒同士が互いに協力し合う姿が見られる。 ・授業や朝読書に真面目に取り組むことができる。 【課題】 ・自己肯定感が低い。 ・相手の立場や気持ちを考える力が不十分。 ・基礎学力や学習習慣が定着していない。 ・将来の目標や夢をもっている生徒が少ない。 ・精神的なたくましさに欠ける(欠席者の数が多い)。 ・望ましい生活習慣が確立しておらず、スマホ、ゲームの依存傾向の強い生徒もいる。		E 手立て・内容(研究仮説) 「考えを互いに伝え合い、ともに協力して解決する課題や学習活動を設定し、その手立てを工夫すれば、自他を大切にし、主体的に学び、行動する生徒が育つであろう。」 研究の2つの柱 【学力育成】「学び合い」の授業づくりを行い、家庭学習の改善を図る。 ユニバーサルデザインの授業、ペア・グループ活動、図書館・ICT機器・タブレット端末の活用、学習の約束提示、自学ノートの充実化、放課後学習会の実施、基礎力テストの実施、一人一授業公開の実施 【集団育成】道徳教育、人権教育、各集団づくり、生徒会活動の充実を図る。 道徳科の授業改善、人権教育の充実(人権集会、職員研修)、学級集団・学年集団・部活動集団等、各集団づくりの工夫、生徒会活動の活性化	
		F 検証方法 ・アンケート(「自分の学習に向かう姿」について振り返るアンケートを生徒に実施する。) ・学校評価アンケート(生徒・保護者・教職員対象) ・授業研究(6年目研修、中堅研修、学び合いの授業づくり研修での研究授業および授業研究会) ・全国学力調査および島根県学力調査の教科・意識調査の結果について考察し、学力向上のための取組を協議・実施する。	
		D めざす子どもの姿 本校では、研究主題を下記のようにとらえている。下記のような子どもたちの姿をめざしている。 【自他を大切にし】 ・自分と他者の良さや違いを認め、尊重し合うこと。 ・自分の思いを伝えたり、他者の思いを受け止めたりすること。 【主体的に学ぶ】 ・学ぶことに興味・関心をもって粘り強く取り組み、自己を振り返って次につなげること。 ・明確な目的をもち、自らの意思で行動すること。 【「学び合い」の授業】 ・生徒同士が互いに関わり合いながら、協働して課題を解決する授業。 ・さまざまな価値観をもった他者との対話を通して、自己の考えを広げ、深める授業。 【「認め合い、支え合う集団」】 ・自分と異なる価値観をもった相手を理解して尊重し、互いに協力し合う親和的な集団。	
		G 研究計画 ・アンケートの実施(年2回程度) ・一人一授業公開の実施(通年)および訪問指導 ・放課後学習会の実施(定期テスト前に年間5回の実施) ・基礎力テストの実施(年間7回の実施) ・道徳教育および人権・同和教育の職員研修(帯活動のようなミニ研修)の実施(通年) ・新校舎での学習・生活に向けて、各教科の「ラボ」に掲示物を掲示(2・3学期)	